

平成31年・令和元年 災害発生状況(鉱山保安法第41条等による報告)

資料1-1

No	災害発 生月日	管 区	都道府県名	鉱種	り災者数			直轄 or 請負	年齢	担当職務 経験年数		危害 or 鉱害	災害の種類	概 況
					死	重				年	月			
						>4w	4w> 2w							
1	1/11	東北	岩手	石灰石			①	—	—	—	—	危害	外・落下倒壊物	ローリーの運転手(非鉱山労働者:54歳)が製品の積込み作業中、7枚重ねたパレットにパレットを3枚立て掛けた脇で風を避けながら待機していたところ、この3枚のパレットが強風により煽られて倒れ足に当たり、罹災した。
2	1/23	中国	岡山	石灰石	1			直轄	32	1	5	危害	外・コンベア	ベルトコンベアの運転中、作業員が蛇行調整を行っていたところ、リターン側(下側)のベルト(ベルト幅:50cm)に小石を発見し、手でそれを取り除こうとしたところ、左腕をテールローラに巻き込まれ、罹災した。
3	1/28	中国	岡山	石灰石	1			直轄	23	0	10	危害	内・浮石の落下	坑内でサブレベル採掘を実施している採掘箇所、発破で起砕、降下した鉱石の抜き出し箇所において鉱石の積み込み作業中、鉱石が上部より落下し、ホイールローダを運転していた作業員がステアリングの支柱と鉱石(約70cm径)の間に右足を挟まれ、罹災した。
4	1/29	関東	東京	けい石			1	直轄	50	10	1	危害	外・飛石転石	採掘場の移動式破砕機を移設するため、作業員が破砕機から20mくらいの位置でリモコンを操作していたところ、キャタピラが踏んだと思われる小石が飛来し右目に当たり、罹災した。
5	2/1	東北	岩手	石灰石		1		直轄	47	2	10	危害	外・取器	移動式クラッシャーの始業点検時、作業員がエンジンオイル等を確認するため、エンジンルームのボンネットを開けて点検作業を行っていたところ、ボンネット(重量:63kg)が強風に煽られて突然閉まったため、左腰付近を打撲し、罹災した。
6	2/9	関東	新潟	石油・天然ガス	1			請負	55	37	10	危害	外・転倒	ガス坑井掘削作業現場において、罹災者が、養生鉄板上を歩行中、足を滑らせ後方へ尻餅をつくような格好で転倒した際、鉄板と鉄板の隙間に右足つま先が引掛かり、体重が右足に乗り、右足脛骨を骨折し、罹災した。
7	2/14	関東	栃木	石灰石	1			直轄	54	3	9	危害	外・コンベア	プラント作業員は、2月12日に発生した当鉱山の他プラントで発生したかすり傷による災害事例の説明を同僚へ行っていた際、思わず左手を稼働中のコンベア(ベルト幅:30cm)に乗せたため、コンベアと補助ローラーの隙間に左手を巻き込まれ、罹災した。
8	2/17	中部	岐阜	石灰石	1			直轄	47	13	5	危害	外・車両系自動車	8トンドンプトラックで構内道路を通過して鉱石を貯鉱場へ運搬している途中、運転手がシフト操作ミス(推定)をしたことから車体が激しく揺れ、シートベルトを着用していなかったため運転席で腰を打ち付け、罹災した。
9	3/7	関東	埼玉	石灰石	1			直轄	45	2	5	危害	外・転倒	鉱山事務所で使用している飲料水が断水状態になったため、山林内にある飲料水タンクの配管を点検していたところ、斜面で滑って転倒し、罹災した。
10	3/15	関東	埼玉	石灰石	1			直轄	51	11	10	危害	外・取器	資材置き場において、坑廃水処理施設の扉の材料である鉄板を取り出すため、立てかけて保管されていた鉄板(厚さ6mm、1枚の重さ約140kg)10枚をチェーンブロックを用いて引き起こそうとしたとき鉄板が倒壊して足に当たり、罹災した。
11	3/15	東北	岩手	石灰石				—	—	—	—	危害	外・発破火薬類	採掘切羽において発破を行ったところ、飛石が発生した。約600m離れた鉱山外の市道及び畑において、最大で約20cmの石のほか、数cmの石も含め約18個確認された。ただし、人的及び物的の被害発生はない。
12	3/26	関東	栃木	石灰石		1		直轄	26	2	0	危害	外・墜落	砕鉱場でメンテナンス作業を行っていた作業員が、ボルトが外れているのを見つけたため、ボルトを締めるためにスクリーンのライナーに足をかけて上ろうとした際、足を滑らせてシュート下(高さ約1.5m)のBCへ落下し、罹災した。
13	3/28	九州	福岡	石灰石				—	—	—	—	危害	外・火災	鉱山敷地内にある神社の法面の草刈り終了後、刈り取った草の一部を法面中腹にかき集めて積み上げ、焼却したところ、法面周辺に燃え広がった(焼失面積:約625㎡)。
14	4/10	関東	埼玉	石灰石			1	直轄	54	0	1	危害	内・落盤側壁崩壊	作業員が坑内の天盤の浮石の除去作業を実施していたところ、天盤が四角い板状(縦1.5m×横1.2m×厚15cm)に剥がれて床面に落下し、跳ね返って作業員の方へ倒れたため、側壁と落下した天盤に胸部を挟まれ、罹災した。
15	4/12	関東	新潟	石油・天然ガス				—	—	—	—	鉱害	外・坑廃水	プラントの坑廃水処理施設の排出口からの排水を4月12日11時10分に採水し、分析(外注分析会社)を行ったところ、4月24日の分析結果からホウ素が排水基準を超過していることを確認した。鉱山側で排水の排出先の河川(一級河川)を確認したところ、魚類の死骸は確認されていない。
16	4/16	関東	新潟	石灰石			1	請負	43	0	1	危害	外・墜落	作業員がホイールローダーから降りようとしていたところ、手摺りをつかんでいた左手が滑り、約1.1m下の地面へ転落し、罹災した。
17	5/21	関東	栃木	銅				—	—	—	—	鉱害	外・坑廃水	地元自治体との協定に基づく大雨時の河川の共同採水を実施したところ、水素イオン濃度及び銅が協定値を超過していることが判明した。鉱山側で確認したところ、廃水送水管の呑口スクリーンが落ち葉で詰まり、廃水があふれて沢に流入していた。沢の合流先河川(一級河川)において魚等への被害は確認されていない。
18	5/30	九州	鹿児島	金				—	—	—	—	危害	外・火災	プラントの破砕機が過負荷運転により稼働が停止したため、係員が点検を行ったところ、制御室内の抵抗器から発煙を確認した。当該係員及び連絡を受けて駆けつけた作業員9名が消火器による消火作業を実施したところ、11時17分に鎮火した。
19	5/31	四国	愛媛	ドロマイト	1			直轄	57	21	8	危害	外・車両系自動車	罹災者は、車両系鉱山機械に軽油を給油するため、給油所で20Lポリタンクに軽油を入れ、フォークリフトの運転席の右側にポリタンクを置いて(推定)、鉱山道路を下っていたところ、何らかの理由で運転操作を誤り、横転したものと推測される。その際にハンドルで腹部等を強打し(推定)出血性ショック(肝損傷)で死亡した。ヘルメットは被っていたが、シートベルトはしていなかった。
20	6/5	四国	高知	石灰石				—	—	—	—	危害	外・発破火薬類	露天採掘場にて端縁処理の発破を行ったところ、飛石が発生し、発破箇所より約200~250m離れたプラントの屋根等の一部を損壊した。
21	6/10	九州	福岡	石灰石		1		直轄	40	9	0	危害	外・発破火薬類	発破箇所から約100m離れた重機(油圧ショベル)の陰を点火位置として点火したところ、発破飛石が発生し、点火位置にいた3名のうち2名に向かって飛来した。1名は左足擦過傷(不休)であったが、もう1名(点火者)は左足に当たって罹災した。

No	災害発 生月日	管 区	都道府県名	鉱種	り災者数			直轄 or 請負	年齢	担当職務 経験年数		危害 or 鉱害	災害の種類	概 況
					死	重				年	月			
						>4w	4w> 2w							
22	6/16	北海道	北海道	マンガン				-	-	-	-	その他	風水雪害	夜間、低気圧通過による強風のため、倒木による停電が生じ、坑廃水処理施設が機能停止した。 翌朝、出勤した職員が非常用発電装置を稼働させ、坑廃水処理を再開させた が、非常用発電装置稼働までの約5時間について、未処理の状態ではシクナー を通して、排水が河川へ流出したものと推定される。 なお、排出先の河川において、魚等への被害は確認されていない。
23	6/27	九州	鹿児島	金・銀				-	-	-	-	危害	内・発破火薬類	発破箇所から約50m離れた坑道で、発破後の測量にきた作業員が爆薬1本 (アルテックス100g)を発見、回収した。 回収した爆薬は、前の方の発破の爆薬と思われ、発見箇所でも爆薬の加工中に 落としたものと思われる。
24	7/8	中国	岡山	石灰石				-	-	-	-	危害	内・出水	7月8日朝の巡視にて坑道の一部が水没していることを確認、7月10日には隣接 する河川レベル近くまで坑内が水没し、坑内に設置したポンプ、配電盤等も水 没した。 水位上昇の原因は不明。坑口から公共河川への排水は無い。
25	7/16	東北	青森	石灰石				-	-	-	-	危害	外・火災	作業員がプラント建屋における旧通路の撤去作業のため、エキスパンドメタル の溶断を行っていたところ、建屋内部から煙が上がっていることに気付いた。 入室したところ、作業箇所下部のケーブル中継盤(プラスチック製)が燃えていた ため近くにあった消火器により消火した。
26	8/6	九州	宮崎	石油・天 然ガス				-	-	-	-	その他	風水雪害	台風8号の強風の影響による倒木等で通信が切断された。 また、架管部のカバーが強風に煽られフローラインが破損した。
27	8/13	那覇	沖縄	石灰石		1		直轄	61	36	11	危害	外・墜落	罹災者は、選鉱場のダストホッパーに溜まったダストをトラックの荷台に載せる 作業を行っていた。 作業終了後、プラントの階段を使用せず、トラックの荷台から直接運転席に乗り 込もうとしたところ、掴んでいた運転席の手すりがボルトの腐食により外れ、約 1.2m下の地面へ落下し、左腕を負傷した。
28	8/26	九州	長崎	ろう石	1			直轄	58	20	0	危害	外・墜落	選鉱場内旧休憩室の解体作業を行っていた作業員が、最後に床面を落とすた めに、予めパワーショベルで吊り上げていたワイヤーの床面の位置を中心側に 変えようとして床面に上がったところ、床面を支える左右2本の支柱の内1本が 腐食のため突然破断し、斜めに宙づりになった床面を滑るように約4~5m下の 地面へ墜落した。
29	8/28	関東	埼玉	石灰石	1			直轄	48	11	9	危害	外・転倒	執務時間中に作業員が屋外の喫煙場所で雨に濡れないところで喫煙しようと、 建屋の軒下を歩いて移動中、置いてあった土嚢を踏んで、足を取られて転倒し、 罹災。
30	9/5	関東	静岡	けい石				-	-	-	-	鉱害	油排出	重油メインタンクからサービスタンク(容量:390%)への自動給油を行うレベルス イッチの故障によりオイルポンプが停止せず、当該タンク上部のエア抜きより 重油が噴出し、一部が側溝を通じて隣接する港に少量流出した。
31	9/9	関東	千葉	石油・天 然ガス				-	-	-	-	その他	風水雪害	台風15号の影響により、基地隣接地で倒木が発生し、その倒木が構内配管 (低圧送ガス用)にあたり破損した。 発生時は停電していたため、送ガスが停止しており、天然ガスの漏洩はない。
32	9/12	東北	岩手	石灰石		1		直轄	24	2	10	危害	外・コンベア	作業員が石灰石の砕鉱場の集塵機及びその抜き出し工程(スクリーコンベア を含む)の清掃作業を行っていたところ、スクリーコンベアのケーシング下面の 蓋の留め金具が脱落したため、同コンベアが稼働していたにもかかわらず、金 具を戻そうとした。 この時バランスを崩し、左手中指をスクリーコンベア【定格出力:1.5kw】に挟み 負傷。左手中指の第一関節から先端部を切創し、末節骨を骨折した。
33	9/14	関東	東京	石灰石				-	-	-	-	危害	外・火災	選鉱場のベルトコンベアのシュート部の鉄板を溶断作業中、火の粉がシュート裏 のゴムに着火し、当該ゴム約3mとベルト約6mを焼損した。
34	9/18	関東	群馬	石灰石				-	-	-	-	危害	外・発破火薬類	露天採掘場にて発破を行ったところ、飛石が発生し、発破箇所の前方56mに設 置していた工具倉庫のシャッターに4箇所、消火器ケースに1箇所に飛石があた り、損傷しているのが確認された。
35	10/4	中部	愛知	けい石		1		直轄	58	13	0	危害	外・車両系自動車	採掘場においてダンプトラック(40t)が176mLベンチから約10m下の166 mLベンチに転落し、キャビン内の運転手が罹災。転落した箇所は鉱山道路で はなく採掘切羽であり、当該箇所は未明の雨でぬかるんだ状態だった。
36	10/7	九州	鹿児島	金・銀				-	-	-	-	危害	内・火災	ダンプトラック(20t)がズリを運んで昇坑中、突然トルクコンバーターとトランス ミッションを繋ぐシャフトが外れ、オイル配管が損傷、漏れ出したオイルにシャフト の回転による衝突火花で引火し、エンジンから出火した。 オペレーターはすぐに坑外に連絡し、車載の消火器で消火した。
37	10/12	関東	群馬	石灰石				-	-	-	-	その他	風水雪害	台風19号の大雨の影響により、貯砕鉱場の抜鉱施設カルバート内への鉱石流 入及び鉱山道路の一部が法面崩落により損傷した。
38	10/12	関東	埼玉	石灰石				-	-	-	-	その他	風水雪害	台風19号の大雨の影響により、土砂混じりの鉱石が流入し、坑内破砕施設から の抜き出しベルトコンベアの一部が埋没した。
39	10/12	関東	埼玉	石灰石				-	-	-	-	その他	風水雪害	台風19号の大雨の影響により、土石流受けピットの一部が決壊し、泥水が同 ピット外へ流出した。 泥水及び流木が沈砂池の機能不全を引き起こし、鉱山道路沿いに流下。町道 沿いの斜面を洗掘し、土砂が町道に流出した。
40	10/12 (推定)	関東	東京	石灰石				-	-	-	-	その他	風水雪害	台風19号の大雨の影響により、鉱石運搬施設の一部に土砂が流入し、軌条埋 没、倒木、電線損傷等が生じた。
41	10/13	東北	福島	銅				-	-	-	-	その他	風水雪害	台風19号の影響によりズリ浸透水が増加するとともに周辺の降雨水が集水ピ ットに流れ込んだため、当該ピットからズリ浸透水が越流し、町道から河川へ流出 した。
42	10/13	東北	福島	石灰石				-	-	-	-	その他	風水雪害	台風19号の影響により坑外破砕施設が水に浸かり、操業が停止した。
43	10/13 (発見)	関東	埼玉	石灰石				-	-	-	-	その他	風水雪害	台風19号の大雨の影響により、鉱山道路の一部に土砂崩れ(法面崩壊)及び路 肩洗掘が生じた。
44	10/13 (推定) 10/17 10/21	東北	岩手	銅				-	-	-	-	その他	風水雪害	台風19号の影響で、処理場への連絡道路が崩壊し、電力の通電・資機材の運 搬に支障を来したほか、次の事象が発生した。 ①河床浸透水の揚水ポンプが水没のため故障し、河床浸透水が河川に流出し た。 ②①の浸透水の流出を防止するためボーリング孔から坑内に導水していたとこ ろ、坑内水位上昇によりボーリング孔から逆流、河床浸透水とともに河川に流出 した。 ③集積場の浸透水・暗渠水が増加し、河川に流出した。

No	災害発 生月日	管 区	都道府県名	鉱種	り災者数			直轄 or 請負	年齢	担当職務 経験年数		危害 or 鉱害	災害の種類	概 況		
					死	重				年	月					
						>4w	4w> 2w								軽	
45	10/15	中部	三重	石灰石			1	直轄	34	3	6	危害	外・転倒	作業員8名で選鉱プラントのメンテナンス作業を実施中、作業員のうち1名が車両に積んだ作業道具を取りに行った際に、ベルトコンベアフレーム付近に右太ももをぶつけ転倒し、罹災した。		
46	10/25	関東	千葉	石油・天然ガス				-	-	-	-	その他	風水害	大雨の影響により河川氾濫が発生し、河川に隣接するプラント内に浸水し、プラント内電気機器が水没して使用不能となった。		
47	10/25	関東	千葉	石油・天然ガス				-	-	-	-	その他	風水害	台風21号接近に伴う大雨の影響により、河川溢水に伴う冠水のためかん水の集水プラントが停止し、各基地からの送水が停止したため2つの基地で次の事象が発生した。 ①雨水をポンプでかん水の沈砂槽に汲み上げていたが、溢れそうになり停止させたところ、サイフォン現象で逆流し、かん水が基地外へ流出した。 ②送水線の配管に、同系列の各基地(全5基地)からの送水ポンプ圧が掛かったため配管が破損し、かん水が基地外へ流出した。		
48	10/31 (発見)	九州	福岡	石灰石				-	-	-	-	危害	内・火薬類のため(紛失)	坑内の岩盤の定期点検中、坑道側壁の発破孔跡に紙が貼って見えなかったため、取り出したところ、計約570gの含水爆薬が見つかった。 この発見を受けて、鉱山側が同坑道の残発破孔の総点検を実施したところ、11月5日に計960gの含水爆薬が新たに見つかった。 当該坑道は、平成19年3月頃掘進されたもので、発見された爆薬は、掘進時の不発したもの未回収となり残っていたものと推測される。		
49	11/7	九州	鹿児島	金・銀				-	-	-	-	危害	内・火災	鉱石をロードホールダンプで運搬していたところ、運転席横のバッテリーが突然ショートし出火した。		
50	11/15	中国	岡山	石灰石	1			直轄	69	6	0	危害	内・その他(埋没)	立坑下の鉱石抜き出し箇所において、罹災者がシュート入口レベルで鉱石詰まり解消するために作業をしていたところ、突然、滞留していた鉱石が抜けて崩落し、引き込まれた罹災者はシュート内に埋没した。		
52	11/18	四国	高知	石灰石				-	-	-	-	危害	外・火災	荷役をしていた船員が、船積用のベルトコンベアから煙が上がっているのを発見し、オペレータ及び係員により消火器を使って直ちに消火した。 原因は、トリッパーヘッドブリー右軸受が破損し、ブリーシャフトがシュートと接触した状態で運転していたため熱が発生し、トリッパーシュート内に貼られていた防音ゴムに引火したことによると推測される。		
53	11/19	関東	栃木	石灰石				-	-	-	-	危害	外・火災	焼場の焼成炉からの抜き出しベルトコンベアにおいて火災が発生し、ベルト部約20mを焼損した。		
54	11/23	関東	埼玉	石灰石	1			直轄	42	1	9	危害	内・運搬その他(鉱車接触)	出鉱準備作業として、バッテリーロコ(機関車)に鉱車を連結する作業を行っていたところ、運転操作を誤り右足をはさまれ罹災した。		
55	12/6	九州	福岡	石灰石	1			直轄	56	25	0	危害	外・墜落	ダンプトラックに乗車するため、右足をステップ(地上高さ50cm)に掛け、左手でエンジンカバー横の手摺を掴もうとしたところ、掴み損ねてバランスを崩し、身体左側を下にして地面へ墜落した。		
56	12/16	東北	岩手	けい石				1	直轄	59	2	2	危害	外・転倒	重機オペレーターが、タイヤショベルに巻いていたチェーンを外し、片付けるためチェーンを引っ張ろうと足に力を入れ踏ん張ったところ、地面が凍結しており、滑って転倒し、左肘を強く地面にぶつけて罹災した。	
57	12/21	四国	高知	石灰石					-	-	-	危害	外・火災	荷役作業中、船積用のベルトコンベアのトリッパーベントブリーのシャフト右軸受部の軸がずれ、シャフトとケースの金属摩擦により火花が発生し、 그리스に引火して火災が発生した。		
合計					2	11	5	6								
合計改め					2	16	6	総計 24 人								
					-	-	①	① 人			り災者数のうち、丸数字は非鉱山労働者					

発生件数	罹災者数
危害 40 件	直 22 人
鉱害 3 件	請 2 人
その他 13 件	非 1 人

発生件数(鉱種別)	罹災者平均年齢
石灰 0 件	47.2 歳
金非 14 件	
石灰 36 件	
石油 6 件	

災害種別発生件数(罹災者数)	
運搬装置(運搬その他)	1 件 (1人)
運搬装置(コンベア)	3 件 (3人)
運搬装置(車両系自働)	3 件 (3人)
うち(車両系鉱山機)	3 件 (3人)
墜落	5 件 (5人)
火災	9 件 (人)
取器	2 件 (2人)
落下倒壊物	1 件 (1人) ①
工具	1 件 (人)
飛石転石	1 件 (1人)
落盤側壁崩壊	1 件 (1人)
浮石の落下	1 件 (1人)
転倒	5 件 (5人)
岩盤崩壊	1 件 (人)
発破火薬類	6 件 (1人)
機械	1 件 (人)
粉じん	1 件 (人)
しゃく熱溶融物	1 件 (人)
出水	1 件 (人)
その他	1 件 (1人)

坑廃水	2 件	-
油排出	1 件	-
鉱 煙	1 件	-
風水害(震災・台風 その他の自然災害)	13 件	-
毒劇物	1 件	-
坑廃水(土壌)	1 件	-

罹災者のうち丸数字は非鉱山労働者

No	災害発 生月日	管 区	都道府 県名	鉱種	り災者数				直轄 or 請負	年齢	担当職務経 験年数		危害 or 鉱害	災害の種類	概 況
					死	重		軽			年	月			
						>4w	4w> 2w								
1	1/16	中国	山口	石灰石		1			直轄	61	26	4	危害	外・車両系自動車	発破前に車両3台で退避箇所に向かって移動中、立坑深度計測車(トラック)1台が切羽路面にあった凹地に進入し、車体がバウンドして、運転員が腰を強打し腰椎を骨折した。
2	1/17	中部	岐阜	金属				1	請負	36	0	10	危害	外・車両系自動車	罹災者は運搬作業中、フォークリフトに乗車し、空荷の状態坂道を後進していた。速度が出すぎたため車両右後方を擁壁にこすって停車させようとしたが、擁壁との接触時に車体が横転し、フォークリフトと地面との間に左足をはさまれ、左足を骨折した。
3	1/30	東北	青森	金属									鉱害	坑廃水	坑廃水処理施設において、沈殿池のオーバーフロー水のpH下限警報が発報(pH5.8以下で作動)し、pH4.32の基準値を超過した未処理水が約620m ³ が流出した。
4	2/4	九州	鹿児島	金属									鉱害	坑廃水	鉱石を手選工場から鉱石置場へ運搬するベルトコンベアの防塵カバー内の洗浄作業を行ったところ、洗浄時の排水が河川へ流出。(推定:約100m ³ 、浮遊物質濃度1,000mg/l)
5	2/21	東北	青森	石灰石									危害	外・火災	採掘切羽で穿孔作業中、コンプレッサーオイルが漏れ、漏れた油がエンジン高温部に接触したことにより出火した。
6	2/22	九州	大分	石灰石		1			請負	39	4	9	危害	外・墜落	罹災者は、バックホウの運転席に乗車しようとした際、右足が履帯に付着していた泥で滑り、バランスを崩して、飛び降りた(高さ約1.5メートル)。その後、罹災者はバックホウに乗車し、作業を1時間程度継続したが、両足の痛みが増してきたため、作業を中断し、罹災者自ら車を運転して病院に行き、両足踵骨折と診断された。
7	3/14	中部	愛知	石灰石			①		-	33	6	8	危害	外・取器	罹災者(非鉱山労働者)がホッパーの修理作業中、高所にあるモーター(60kg程度)を取外して下ろそうとしたところ、モーターが滑り落ち左足太腿に接触した。
8	4/9	東北	岩手	石灰石									危害	外・火災	採掘切羽において、オペレーターが大型油圧ショベルを運転し、鉱石の掻き出し作業をしていたところ、焦げ臭い匂いに気付き、エンジンを停止した。オペレーターが原因箇所を探したところ、運転席左側のコンソールボックスからの出火を確認し、消火器1本を使用して消火・鎮火した。
9	4/19	関東	東京	石灰石									危害	外・火災	鉱山事務所会議室棟(プレハブ2階建て)の2階部分から出火しているのを地元住民が発見し、消防団を含む消防車10台が消火にあたって鎮火した。鉱山事務所会議室棟の2階会議室が半焼し、特に同部屋の分電盤部分の焼失が激しかった。
合計					0	2	0	1							
合計改め					0	2	①	1		総計	3				
					-	①				①					り災者数のうち、丸数字は非鉱山労働者

発生件数	罹災者数
危害 7 件	直 1 人
鉱害 2 件	請 2 人
その他 0 件	非 1 人

発生件数(鉱種別)	罹災者平均年齢
石炭 0 件	42.3 歳
金非 4 件	
石灰 5 件	
石油 0 件	

災害種別発生件数(罹災者数)		
運搬装置(運搬)	1 件	(1 人)
運搬装置(コン)	1 件	(1 人)
運搬装置(車両)	2 件	(2 人)
うち(車両系)	1 件	(1 人)
墜落	1 件	(1 人)
火災	3 件	(3 人)
取器	1 件	(1 人)
落下倒壊物	1 件	(1 人)
工具	1 件	(1 人)
飛石転石	1 件	(1 人)
落盤側壁崩壊	1 件	(1 人)
浮石の落下	1 件	(1 人)
転倒	1 件	(1 人)
岩盤崩壊	1 件	(1 人)
発破火薬類	1 件	(1 人)
機械	1 件	(1 人)
粉じん	1 件	(1 人)
しゃく熱溶融物	1 件	(1 人)
その他	1 件	(1 人)
坑廃水	2 件	-
油排出	1 件	-
鉱 煙	1 件	-
風水害(震災・台風その他の自然災害)	1 件	-
毒劇物	1 件	-
坑廃水(土壌)	1 件	-

罹災者のうち丸数字は非鉱山労働者

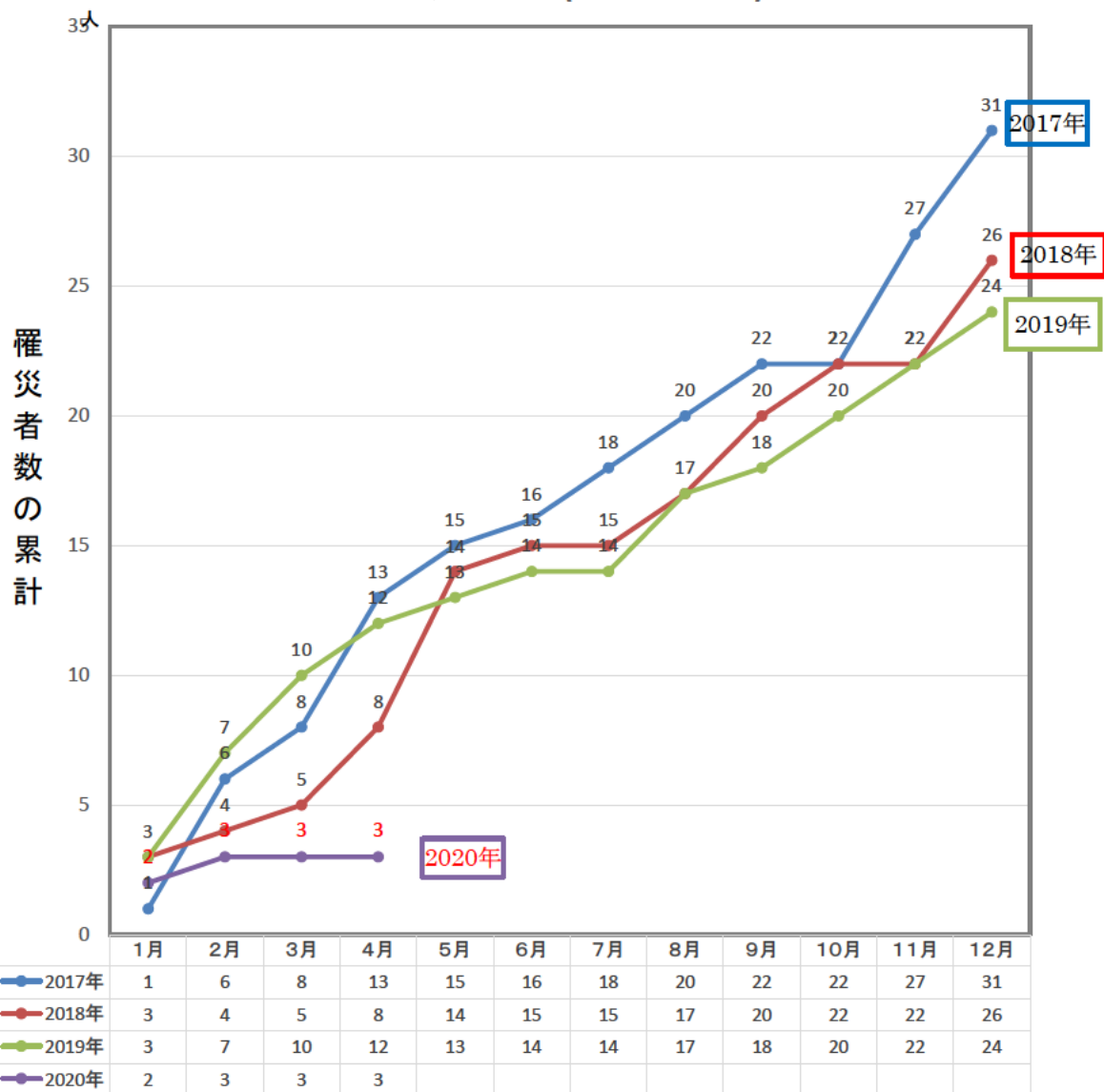
(参考) 月別罹災者数

	2017年		2018年		2019年		2020年		
	罹災者数	累計	罹災者数	累計	罹災者数	累計	罹災者数	累計	対前年(累計)
1月	1	1	3	3	3	3	2	2	-1
2月	5	6	1	4	4	7	1	3	-4
3月	2	8	1	5	3	10	0	3	-7
4月	5	13	3	8	2	12	0	3	-9
5月	2	15	6	14	1 (1)	13			
6月	1	16	1	15	1	14			
7月	2	18	0	15	0	14			
8月	2	20	2	17	3	17			
9月	2	22	3	20	1	18			
10月	0	22	2	22	2	20			
11月	5	27	0	22	2 (1)	22			
12月	4 (1)	31	4	26	2	24			
小計	31 (1)		26 0		24 (2)		3		

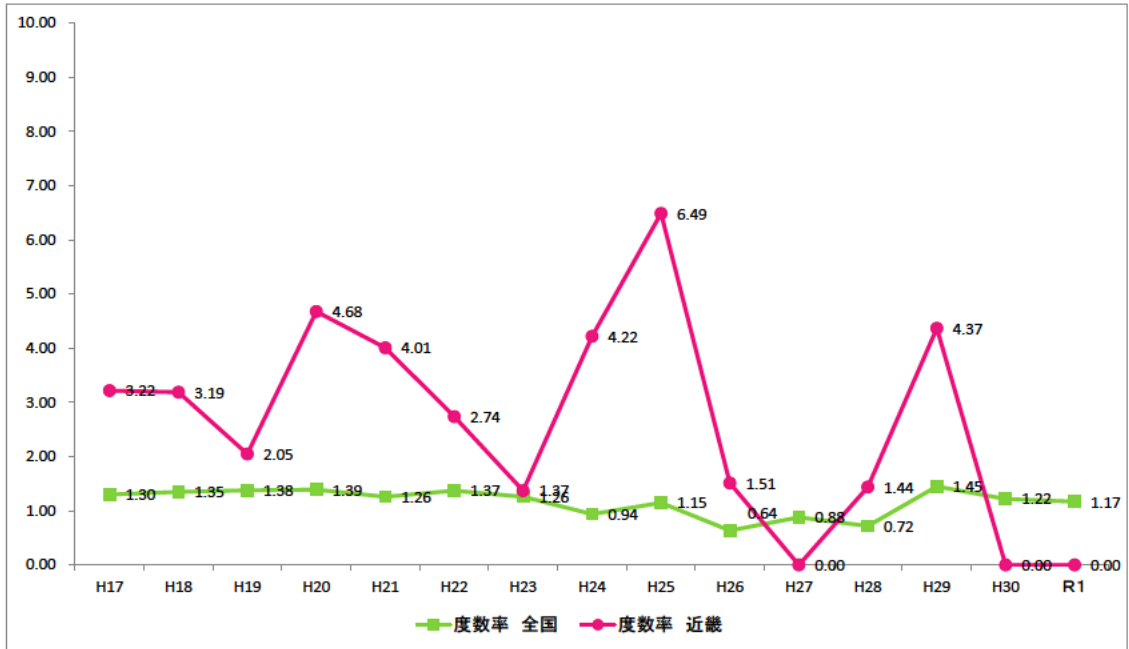
※()は死亡者数で内数

※非鉱山労働者は含まない。

月別罹災者数の経緯(2017-2020)

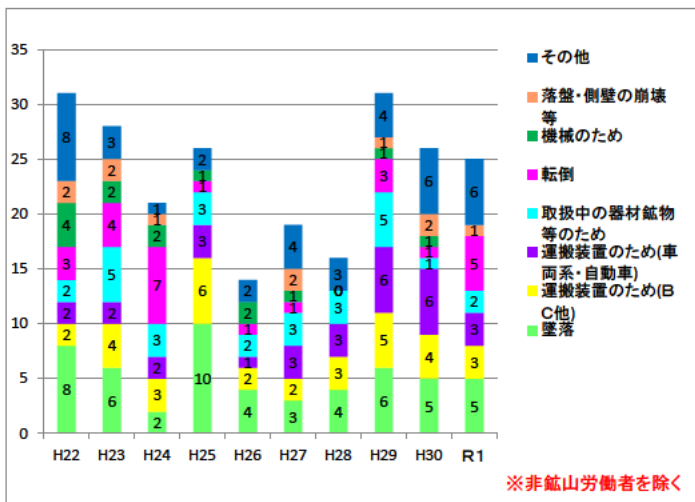


全国・近畿管内災害率の推移(平成17年～R1年)



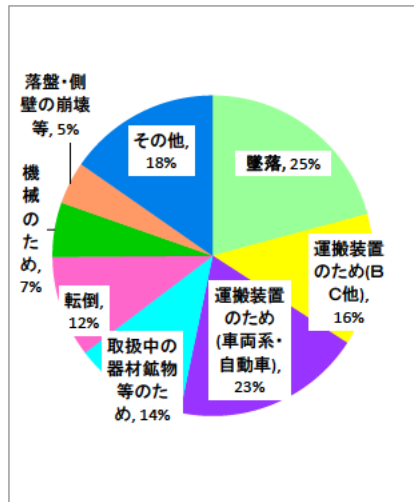
※ 度数率(発生頻度の指標):稼働延べ100万時間当たり罹災者数 強度率(負傷程度の指標):稼働延べ1000時間当たりの損失日数

全国事由別罹災者数の推移(平成22年～R1年)

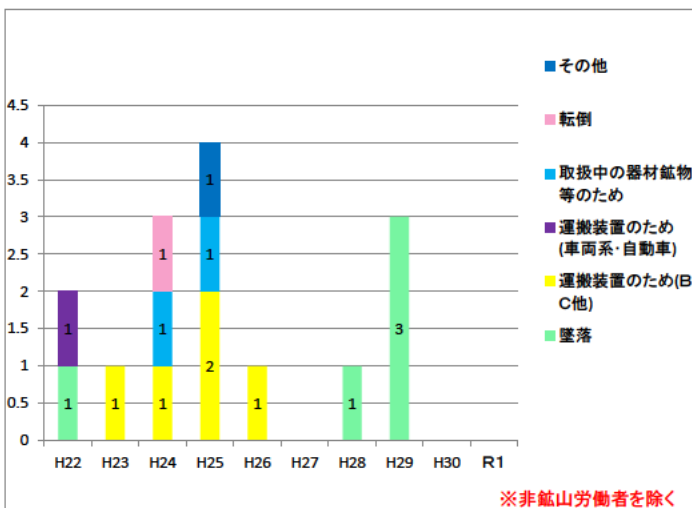


※非鉱山労働者を除く

全国事由別罹災者数割合(平成22年～R1年)



近畿管内事由別罹災者数の推移(平成22年～R1年)



※非鉱山労働者を除く

近畿管内事由別罹災者数割合(平成22年～R1年)

